

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）の進捗について

報告内容

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）に掲載している事業の進捗状況（令和7年度末時点）を報告します。

1 スポーツ推進計画に掲載している事業数

96事業

※事業名等の詳細は別紙1のとおり

2 各事業の進捗

進捗管理票（別紙2及び参考資料）のとおり

(1) 年次計画・成果指標を記載している事業（別紙2）

取組の年次計画及び成果指標を掲載している事業について、令和6年度末における進捗を記載しています。

なお、事業の取組や成果の進捗は以下の区分で示しています。

- a：後期3年間の目標を上回って達成する見込みである。
b：後期3年間の目標に到達する見込みである。
c：後期3年間の目標に到達するには、改善が必要である。
－：指標値を把握できない。

《進捗状況別事業数一覧》

進捗状況	a	b	c	－	計
事業数	2	1	0	0	3

(2) その他の事業（参考資料）

年次計画・成果指標を記載していない事業（別紙2以外の事業）について、令和7年度末における進捗を記載しています。

スポーツ推進計画掲載事業 担当課一覧

基本目標1 誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動の推進

施策	重点新規	事業名	計画書掲載頁	担当課
(1)スポーツ活動に親しむきっかけづくり	-	①地域スポーツ教室の開催	42	生涯学習スポーツ振興課
	-	②みなと区民スポーツ・体育祭の開催	42	生涯学習スポーツ振興課
	-	③MINATO シティハーフマラソンの開催	43	生涯学習スポーツ振興課
	-	④スポーツを通じた国際交流の推進	43	生涯学習スポーツ振興課
(2)子どものスポーツ活動の促進	-	①子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	44	生涯学習スポーツ振興課
	-	②幼児の体力増進の取組	44	生涯学習スポーツ振興課
	-	③小・中学校、幼稚園での体力向上の取組	44	生涯学習スポーツ振興課/教育指導担当
	-	④部活動指導員の活用	44	教育人事企画課
	-	⑤「放課G0→」・「放課G0→クラブ」での体力向上の取組	45	各総合支所管理課/子ども若者支援課/生涯学習スポーツ振興課
	-	⑥児童館・子ども中高生プラザでの体力向上の取組	45	各総合支所管理課/子ども若者支援課
	-	⑦小学校における連合運動会等の開催	45	教育指導担当
	-	⑧中学校における体育大会等の開催	45	教育指導担当
	-	⑨特別支援学級合同運動会の開催	45	教育指導担当
	新規	⑩MINATORIZMダンスフェスタの開催	45	教育長室
(3)子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の促進	-	①スポーツセンター等での夜間の教室開催	46	生涯学習スポーツ振興課
	-	②子育て世代のスポーツ活動への参加促進	46	生涯学習スポーツ振興課
	-	③働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	46	生涯学習スポーツ振興課
	-	④働き盛り世代への運動プログラムの周知	46	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課
	重点	⑤オンライン配信によるスポーツ機会の充実	46	生涯学習スポーツ振興課
(4)高齢者のスポーツ活動の促進	-	①高齢者向けスポーツ教室の実施	47	生涯学習スポーツ振興課
	-	②さわやか体育祭の開催	47	各総合支所管理課
	-	③いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	47	各総合支所管理課/高齢者支援課
	-	④港区老人クラブ連合会の支援	47	保健福祉課/生涯学習スポーツ振興課
(5)スポーツ観戦機会の創出	-	①「みる」スポーツの機会創出	48	生涯学習スポーツ振興課
	重点	②スポーツ大会・試合・催し物の誘致	48	生涯学習スポーツ振興課
	-	③スポーツ大会等の情報発信	48	生涯学習スポーツ振興課

(6)競技スポーツへの参加支援	-	①区民大会等の開催	49	生涯学習スポーツ振興課
	-	②定期練習会の開催	49	生涯学習スポーツ振興課
	-	③指導員付個人公開の実施	49	生涯学習スポーツ振興課
	-	④トップアスリート及び企業の実業団チームとの交流	49	生涯学習スポーツ振興課
(7)スポーツ情報の提供	-	①積極的なスポーツ情報の提供	50	生涯学習スポーツ振興課
	-	②スポーツ施設等の利用に関する情報の提供	50	生涯学習スポーツ振興課

基本目標2 スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携

施策	重点新規	事業名	計画書掲載頁	担当課
(1)スポーツボランティアの育成と活用	-	①スポーツボランティア活動の普及と定着	51	生涯学習スポーツ振興課
	-	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	51	生涯学習スポーツ振興課
(2)スポーツ指導者の確保と活用	-	①部活動指導員の活用 [再掲]	52	教育人事企画課
	-	②武道における外部指導員の活用	52	教育指導担当
(3)地域スポーツ団体等の支援と充実	重点	①総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)への支援	53	生涯学習スポーツ振興課
	-	②スポーツ推進委員協議会の活動支援	54	生涯学習スポーツ振興課
	-	③(一財)港区体育協会への支援	54	生涯学習スポーツ振興課
	-	④社会体育団体への支援	54	生涯学習スポーツ振興課
(4)スポーツ活動を支える団体等との連携	-	①(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	55	生涯学習スポーツ振興課
	-	②(一財)港区体育協会との連携	55	生涯学習スポーツ振興課
	-	③競技団体との連携	55	生涯学習スポーツ振興課
	新規	④団体支援を通じたスポーツ振興の充実	55	生涯学習スポーツ振興課

基本目標3 スポーツを楽しむ場の確保と利用促進

施策	重点新規	事業名	計画書掲載頁	担当課
(1)区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実	-	①区立スポーツ施設等の充実	56	生涯学習スポーツ振興課
	新規	②新たなスポーツ施設の整備	56	生涯学習スポーツ振興課
	新規	③スポーツ施設の計画的な維持保全	56	生涯学習スポーツ振興課
	-	④公園や児童遊園、歩道の整備	57	土木課
	-	⑤校庭の整備等、学校における運動環境の充実	57	学務課/学校施設担当
	-	⑥プレーパークの推進	57	各総合支所まちづくり課/土木課

(2) 学校施設の活用の推進	-	①校庭・体育館等の開放	57	生涯学習スポーツ振興課
	-	②学校屋内プールの開放	58	生涯学習スポーツ振興課
	-	③遊び場開放事業の実施	58	生涯学習スポーツ振興課
	-	④園庭等の開放	58	学務課
(3) 区内企業・大学等のスポーツ施設の活用の推進	-	①企業・大学等のスポーツ施設等の活用	58	生涯学習スポーツ振興課
	-	②区外における運動施設の活用	58	生涯学習スポーツ振興課

基本目標4 障害者がスポーツに親しめる環境づくりと理解の促進

施策	重点新規	事業名	計画書掲載頁	担当課
(1) 障害者のスポーツ活動の推進	-	①障害者のスポーツ教室の開催	59	障害者福祉課
	-	②いちょう学級の実施	59	障害者福祉課
	-	③パラスポーツ指導員の配置	59	生涯学習スポーツ振興課
	-	④スポーツ活動の場の確保	59	
(2) 障害者のスポーツ環境の充実	-	①障害者スポーツ用具の充実	60	生涯学習スポーツ振興課
	-	②障害者のスポーツ環境の整備	60	生涯学習スポーツ振興課
(3) 障害者スポーツを通じた交流の推進	-	①障害者スポーツの観戦・体験機会の実施	61	生涯学習スポーツ振興課
	新規	②教育プログラムの実施	61	生涯学習スポーツ振興課
	-	③スポーツ活動の場の確保 [再掲]	61	生涯学習スポーツ振興課
	-	④障害者スポーツ大会等の誘致	61	生涯学習スポーツ振興課
(4) 障害者スポーツへの理解の促進	-	①障害者スポーツの理解の推進	63	生涯学習スポーツ振興課
	-	②障害者スポーツの普及・啓発	63	生涯学習スポーツ振興課
	新規	③障害者サッカーを通じた共生社会※の実現	63	生涯学習スポーツ振興課

基本目標5 港区の特性や資源を活用したスポーツ活動の推進

施策	重点新規	事業名	計画書掲載頁	担当課
(1) 港区の特性を生かしたスポーツ活動の推進	-	①観光資源を活用したスポーツ活動の実施	65	生涯学習スポーツ振興課
	-	②立地特性を生かした催し物の実施	65	生涯学習スポーツ振興課
(2) 区内企業等との連携によるスポーツ機会の創出	-	①トップアスリート及び企業の実業団チームとの交流[再掲]	66	生涯学習スポーツ振興課
	-	②企業との連携協定	66	生涯学習スポーツ振興課
	-	③ラグビーを生かしたスポーツ振興	66	生涯学習スポーツ振興課

	新規	④障害者サッカーを通じた共生社会※の実現 [再掲]	67	生涯学習スポーツ振興課
		⑤総合支所の地域事業を通じたスポーツの推進	67	生涯学習スポーツ振興課
(3) 東京 2020 大会等のレガシーの継承・推進	-	①MINATO シティハーフマラソンの開催 [再掲]	68	生涯学習スポーツ振興課
	-	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施 [再掲]	68	生涯学習スポーツ振興課
	-	③東京 2020 大会のレガシーの継承	68	生涯学習スポーツ振興課
(4) 先端技術を活用したスポーツ活動の推進		①先端技術を活用した新たなスポーツの楽しみ方の創出	69	生涯学習スポーツ振興課
	重点	②オンライン配信によるスポーツ機会の充実 [再掲]	69	生涯学習スポーツ振興課

基本目標6 健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

施策	重点新規	事業名	計画書掲載頁	担当課
(1) 健康づくりのための身体活動の推進	-	①健康づくり自主グループの育成及び支援	71	健康推進課
	-	②健康づくりサポーターの育成及び支援	71	健康推進課
	-	③ウォーキング&サイクリングマップを活用した日常的な健康づくり	71	健康推進課
	-	④健康講座の開催	71	健康推進課
	-	⑤「港区子ども健康読本」の発行	72	健康推進課
	新規	⑥子どもの健康な身体づくりに向けた食育の推進	72	学務課
	-	⑦「親子ふれあい広場」での催し物の開催	72	子ども家庭支援センター
(2) 介護予防等に向けた取組の展開	-	①介護予防を担う人材の養成	73	高齢者支援課
	-	②介護予防体操(みんなといきいき体操)の普及	73	高齢者支援課
	-	③介護予防事業の充実	73	高齢者支援課
	-	④認知症予防事業の実施	73	高齢者支援課
	-	⑤高齢者向けスポーツ教室の実施 [再掲]	73	生涯学習スポーツ振興課
(3) スポーツと健康づくりの活動拠点の充実	-	①スポーツと健康づくりをともに支える環境の充実	74	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課
	-	②健康増進センター(ヘルシーナ)における健康増進の取組の実施	74	健康推進課
	-	③介護予防総合センター(ラクっちゃ)における介護予防に係る取組の実施	74	高齢者支援課

港区 スポーツ 推進計画(令和3年度～令和8年度)進捗管理票

【年次計画・成果指標を記載している事業】

別紙2

<進捗状況の区分>
 a:後期3年間の目標を上回って達成する見込みである。
 b:後期3年間に到達する見込みである。
 c:後期3年間の目標に到達するには、改善が必要である。

No.(基本目標-施策-事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課		
1-(3)-⑤		46	○	—	オンライン配信によるスポーツ機会の充実	生涯学習スポーツ振興課		
事業・取組の内容							進捗状況	
新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツをする場の変化を踏まえ、アフターコロナに向けて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しむことができるように、各種スポーツ教室や催し物などの様々なスポーツコンテンツのオンライン配信の充実を図る。							b	
			前期 令和5年度	後期3年間 令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績の評価(令和7年度)	事業の課題や改善が必要な事項
取組目標	オンライン配信によるスポーツ教室数	年次計画	12教室	6教室	7教室	8教室	オンラインによるスポーツ教室について、エアロビクスに加えてHIPHOPを新たに追加したほか、熱中症対策についてのセミナーを配信することで、配信内容の充実を図った。	・配信時期が集中したことにより、効果的な周知や視聴の分散が十分に図れなかった。 ・また、視聴者ニーズを十分に把握できていないため、コンテンツ内容の検討に課題があるので、アンケートによるニーズの分析も検討する。
		実績	4教室 (1)東京eデュアスロン2024 (2)10分簡単エアロビクス (3)10分簡単ストレッチ (4)20分お家イス体操 (1)は新規、(2)~(4)は録画配信でR4から継続	6教室 (1)タオル体操&かんたんエアロ (2)かんたんエアロその1 (3)かんたんエアロその2 (4)かんたんエアロその3 (5)かんたんエアロ総集編 (6)タオル体操	8教室 (1)熱中症対策セミナー (2)かんたんエアロ2026① (3)かんたんエアロ2026② (4)ベーシックエアロ (5)HIPHOP「入門」① (6)HIPHOP「入門」② (7)HIPHOP「応用」① (8)HIPHOP「応用」②			
成果指標①	参加者数/年間	指標①	660人	2,500人	2,700人	2,800人	・YouTubeによる配信を継続することで、時間や場所に制約されずに視聴できる環境を整え、「いつでも・どこでも」スポーツに親しめる機会を提供することができた。 ・今後は配信を効果的に周知することで、視聴数のさらなる増加を図りたい。	今後の取組 ・配信時期を考慮した計画的な配信を行うとともに、アンケートを実施して視聴者ニーズを把握する。 ・レッスン系に限らず、より幅広いスポーツ関連コンテンツの配信を検討していく。
		実績	441人 (1)東京eデュアスロン2024:79人 (2)簡単エアロビクス:267人 (3)10分簡単ストレッチ:42人 (4)20分お家イス体操:53人	4,434人 (1)タオル体操&かんたんエアロ:460人 (2)かんたんエアロその1:1466人 (3)かんたんエアロその2:2,1095人 (4)かんたんエアロその3:3,584人 (5)かんたんエアロ総集編:693人 (6)タオル体操:136人	1,280人 (1)熱中症対策セミナー:60人 (2)かんたんエアロ2026①:193人 (3)かんたんエアロ2026②:235人 (4)ベーシックエアロ:502人 (5)HIPHOP「入門」①:102人 (6)HIPHOP「入門」②:72人 (7)HIPHOP「応用」①:95人 (8)HIPHOP「応用」②:21人			
成果指標②	—	指標②	—	—	—	—		
		実績	—	—	—	—		
成果指標③	—	指標③	—	—	—	—		
		実績	—	—	—	—		

No.(基本目標-施策-事業)	掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課		
1-(5)-②	48	○	—	スポーツ大会・試合・催し物の誘致	生涯学習スポーツ振興課		
事業・取組の内容						進捗状況	
トップアスリートによるスポーツ大会や試合、催し物を誘致することで、トップアスリートの競技を間近で観戦し、スポーツの興奮や感動を共有する機会を提供する。						a	
取組目標	年次計画	前期	後期3年間		実績の評価(令和7年度)	事業の課題や改善が必要な事項	
		令和5年度	令和6年度	令和7年度			令和8年度
スポーツ大会等の誘致数	4回	5回	5回	5回	<p>・トップアスリートによる大会や体験会、教室などを実施し、試合観戦に加えて競技を体験できる機会を提供した。</p> <p>・また、障害者サッカーの親善試合を開催し、障害者スポーツへの理解促進につなげることができた。</p>	<p>・より多様な競技種目の大会等を誘致し、スポーツの魅力を一層発信していく必要がある。</p> <p>・また、障害者スポーツ大会等について観客動員を伴う場合は、大会当日の運営や会場の入退場を含めた安全対策の強化が課題である。</p>	
実績	8回 (1)福島千里選手のランニング教室 (2)サンゴリアスのラグビー体験教室 (3)阿部詩選手の柔道指導体験会 (4)Panasonicパンサーズのバレーボール練習見学ほか	5回 (1)福島千里がけっこ教室 (2)サンゴリアスラグビー体験教室 (3)金丸雄三ランニングイベント (4)障がい者サッカーレガシーマッチ (5)日本卓球リーグホームマッチ	5回 (1)福島千里セイコーがけっこ教室 (2)サンゴリアスラグビー体験教室 (3)日本卓球リーグホームマッチ (4)全日本フェンシング大会 (5)障がい者サッカーレガシーマッチ				
成果指標①	誘致した大会等の観戦者数/年間	指標①	1,400人	1,200人	1,300人	1,400人	<p>様々な競技種目のトップアスリートによる大会等を実施することで、多くの区民がスポーツを身近に感じ、観戦・体験できる機会を提供することができた。</p> <p>・引き続き、トップアスリートによる大会等を誘致し、区民が競技を間近で観戦・体験できる機会を確保する。</p> <p>・また、障害者スポーツ大会については、安全面に配慮した運営体制の強化を図っていく。</p>
実績	1,284人 (1)福島千里選手:70人 (2)サンゴリアス:71人 (3)阿部詩選手:134人 (4)Panasonicパンサーズ:497人 その他512人	1,729人 (1)福島千里がけっこ教室:79人 (2)サンゴリアスラグビー体験教室:61人 (3)金丸雄三ランニングイベント:60人 (4)障がい者サッカーレガシーマッチ:1,244人 (5)日本卓球リーグホームマッチ:285人	6,355人 (1)福島千里セイコーがけっこ教室:409人 (2)サンゴリアスラグビー体験教室:41人 (3)日本卓球リーグホームマッチ:550人 (4)全日本フェンシング大会:4,155人 (5)障がい者サッカーレガシーマッチ:1,200人				
成果指標②	—	指標②	—	—	—		
成果指標③	—	指標③	—	—	—		
		実績	—	—	—	—	

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和7年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(1)-①	42	—	—	地域スポーツ教室の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	様々なスポーツ体験の場を提供するため、スポーツ推進委員会を中心に、親子や高齢者、障害者など地域の人々が気軽に参加できる教室を実施する。	「テニス」や「ポッチャ」などの地域スポーツ教室を実施し、親子、高齢者、障害者などが気軽に参加できるスポーツ体験の機会を提供した。 ・開催回数:62回 ・参加者数:1,905人	「テニス」や「ポッチャ」などの地域スポーツ教室を実施し、親子、高齢者、障害者などが気軽に参加できるスポーツ体験の機会を提供した。 ・開催回数61回 ・参加者数2,374人	—	—	多様な人が気軽にスポーツを体験できる機会を提供した。	新しい種目を取り入れ、より多くの方に参加してもらえる教室を実施していく。
1-(1)-②	42	—	—	みなと区民スポーツ・体育祭の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	誰もが気軽にスポーツを体験できる機会を提供する「みなと区民スポーツ・体育祭」を開催する。	みなと区民スポーツ・体育祭を開催した。 ・開催日:令和6年10月14日(月・祝) ・参加者数:10,365人	みなと区民スポーツ・体育祭を開催した。 ・開催日:令和7年10月13日(月・祝) ・参加者数:9,988人	—	—	多様な人が気軽にスポーツを体験できる機会を提供した。	今後も誰もが気軽にスポーツに触れられる機会として、継続的に開催していく。
1-(1)-③	43	—	—	MINATOシティハーフマラソンの開催	生涯学習 スポーツ 振興課	子どもから高齢者まで、国籍、障害の有無にかかわらず、多くの区民が参加できるMINATOシティハーフマラソンを開催する。 【種目】 ・ハーフマラソン ・ファンラン(約800m)	ハーフマラソン、ファンランに加え、中高生を対象とした新種目・ユースランを試行実施した。 ・開催日:11月17日(日) ・ランナー出走者数: ハーフ5,155人(申込10,216人)、 ユース60人、 ファンラン547人 ユースラン60人、 大会ボランティア:877人	ハーフマラソン、ファンランに加え、中高生を対象とした新種目・ユースランを試行実施した。 ・開催日:11月16日(日) ・ランナー出走者数: ハーフ5,220人(申込14,772人)、 ユースラン61人 ファンラン510人 大会ボランティア:912人	—	—	・多くの人から申込があり、大会認知度が年々拡大している。 ・「ワールドアスレティックス認証コース」となつてからの初の開催となり、より国際的な大会へと進化。 ・ユースランの正式種目化により、幅広い年齢層が参加できる大会となった。 ・安全・安心な大会となるよう取り組みを進める必要がある。	①昨年度から正式に導入したユースランへの参加者数を増やすため、周知を強化する。 ②メディカルランナーの団体を大会協力で位置付けるなど、安全・安心な大会となるよう、取り組んでいく。
1-(1)-④	43	—	—	スポーツを通じた国際交流の推進	生涯学習 スポーツ 振興課	国籍を問わず誰もが気軽に参加できるスポーツの機会を提供する。	外国人も参加できる区民スポーツ・体育祭等を実施、その情報を英字広報紙「Minato Monthly」に掲載し周知した。	外国人も参加できる区民スポーツ・体育祭等を実施、その情報を英字広報紙「Minato Monthly」に掲載し周知した。	—	—	外国人の参加もあり、幅広い人にスポーツ参加・体験の機会を提供できた。	引き続き、外国人にも参加しやすい事業を実施するとともに、効果的な情報提供の方法を工夫していく。
1-(2)-①	44	—	—	子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	(公財)日本ラグビーフットボール協会や(一社)日本障がい者サッカー連盟等、様々な競技団体との連携によりラグビー教室や障害者サッカー体験教室等を実施し、子どもがスポーツに触れる機会の充実を図る。	【日本ラグビーフットボール協会との連携事業】 ・ラグビー観戦機会5回、参加者数1,280人 ・幼児ラグビー教室(保育園・幼稚園)89回、参加者数1,771人 小学生ラグビー教室40回、参加者数1,019人 キッズラグビーフェスティバル参加者数250人 障害者向けラグビー教室11回、参加人数75人	【日本ラグビーフットボール協会との連携事業】 ・ラグビー観戦機会4回、参加者数4,544人 ・幼児ラグビー教室(保育園・幼稚園)96回、参加者数1,822人 小学生ラグビー教室24回、参加者数870人 キッズラグビーフェスティバル参加者数125人 障害者向けラグビー教室11回、参加人数86人	—	—	子どもたちがスポーツを「する」「みる」機会を数多く提供することができた。	引き続き、子どもたちが様々なスポーツを体験できるよう、多くの機会をつくっていく。
1-(2)-②	44	—	—	幼児の体力増進の取組	生涯学習 スポーツ 振興課	幼児を対象にスイミングやフットサルなどの教室を実施し、幼児期に身体を動かすことの楽しさを体験する機会を提供する。	幼児の水泳教室やキッズバレー、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス、かけっこ教室を実施した。 ・実施回数:269回 ・参加者数:延1,695人	幼児の水泳教室やキッズバレー、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス、かけっこ教室を実施した。 【スポーツセンター】 ・実施回数:170回 ・参加者数:延1,012人 【運動場】 ・実施回数:461回 ・参加者数:延2,124人	—	—	幼児がスポーツをする機会、体力増進の機会を提供することができた。	引き続き、利用者ニーズに踏まえた幼児向け教室を実施していく。
1-(2)-③	44	—	—	小・中学校、幼稚園での体力向上の取組	生涯学習 スポーツ 振興課/ 教育指導 担当	・学校屋内プール開放事業における水泳教室の実施など、子どもたちに身近な学校等で気軽に運動できる機会の創出 ・区立中学校における全部活動に部活動指導員を配置し、専門的な指導を継続的に受けられる環境の整備	夏休み短期水泳教室(3～5日間)、親子水泳教室などを新たに実施した。 ・親子での参加人数:1,344人	4クールを通し通年で、親子水泳教室を実施し、夏季を除き幼児親子教室も継続して実施した。 ・親子での参加人数:1,372人	—	—	小学生親子クラスに加えて幼児・親子での水泳の機会を創出し、多くの参加者を得ることができた。	親子参加のクラスを増やすことで、幼児や小学校低学年の子どもでも気軽に運動できる機会をさらに増やしていく。
1-(2)-④	44	—	—	部活動指導員の活用	教育人事 企画課	・区立中学校における全部活動に部活動指導員を配置し、体力、運動能力の向上、協調性やマナーなどの習得を図る。 ・全区立中学校に、他の中学校に在籍する生徒も入部できる「地域部活動」を設置し、生徒が希望するスポーツに取り組むことができる環境を整備する。	区立中学校の全部活動に部活動指導員を配置した。	区立中学校の全部活動に部活動指導員を配置した。	—	—	部活動指導員を活用して専門的な技術指導と教員の労働環境の改善に取り組んだ。	研修の実施・事業者との連携等により、引き続き、質の高い部活動指導員を継続して配置していく。
1-(2)-⑤	45	—	—	「放課GO→」・「放課GO→クラブ」での体力向上の取組	各総合支 所管理課/ 子ども若 者支援課/ 生涯学習 スポーツ 振興課	児童の放課後等の居場所である「放課GO→」「放課GO→クラブ」において子どもたちの体力向上を図る。	「放課GO→」「放課GO→クラブ」において、様々なスポーツプログラムを実施し、子どもたちの体力向上に寄与した。	「放課GO→」「放課GO→クラブ」において、様々なスポーツプログラムを実施し、子どもたちの体力向上に寄与した。	—	—	様々なスポーツプログラムを通じて、子どもたちの体力向上を図ることができた。	引き続き、子どもたちが興味を持つ様々なスポーツプログラムを通じて、体力向上を図る。
1-(2)-⑥	45	—	—	児童館・子ども中高生プラザ等の体力向上の取組	各総合支 所管理課/ 子ども若 者支援課	児童館・子ども中高生プラザ等の施設や事業において、スポーツや遊びを通じて体力向上を図る。	児童館や子ども中高生プラザにおいて、学習、遊び、スポーツなど様々な場と機会を提供した。	児童館や子ども中高生プラザにおいて、学習、遊び、スポーツなど様々な場と機会を提供した。	—	—	様々なスポーツや遊びを通じて、体力向上を図ることができた。	引き続き学習、遊び、スポーツなど子どもたちが興味を持つ様々な場・機会を提供し、体力向上を図る。
1-(2)-⑦	45	—	—	小学校における連合運動会等の開催	教育指導 担当	区立小学校6年生を対象に「連合運動会」を実施し、児童の体力向上を図る。	連合運動会を実施し、児童の体力向上を図るとともに、学校間の交流を通じて協調性や連帯感を育成した。 ・開催日:令和6年10月3日(水) ・場所:国立競技場	連合運動会を実施し、児童の体力向上を図るとともに、学校間の交流を通じて協調性や連帯感を育成した。 ・開催日:令和7年10月8日(水) ・場所:駒沢陸上競技場	—	—	競技運営や競技場の使用を円滑に行うことができた。	【予定】令和8年10月7日(火)、国立競技場(MUFGスタジアム)
1-(2)-⑧	45	—	—	中学校における体育大会等の開催	教育指導 担当	区立中学校2年生を対象に「連合体育大会」を実施し、協調性や連帯感などを育成する。	連合運動会を実施し生徒の協調性・連帯感の育成を図るとともに、大会本番に向けた練習を通じて体力・運動能力の向上を図った。 ・開催日:令和6年10月2日(水) ・場所:国立競技場	連合運動会を実施し生徒の協調性・連帯感の育成を図るとともに、大会本番に向けた練習を通じて体力・運動能力の向上を図った。 ・開催日:令和7年9月30日(水) ・場所:国立競技場	—	—	競技運営や競技場の使用を円滑に行うことができた。	【予定】令和8年9月29日(火)、国立競技場(MUFGスタジアム)

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和7年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(2)-⑨	45	—	—	特別支援学級合同運動会の開催	教育指導担当	区立小・中学校特別支援学級の児童・生徒の「特別支援学級合同運動会」を実施し、交流と体力向上を図る。	合同運動会を実施し、学校間の交流と児童・生徒の体力向上を図った。 ・開催日:令和6年10月9日(水) ・場所:港区立スポーツセンター	合同運動会を実施し、学校間の交流と児童・生徒の体力向上を図った。 ・開催日:令和7年10月10日(金) ・場所:港区立スポーツセンター	—	保護者参加種目の見直しやプログラムの精査など、児童・生徒の実態、参加人数に合った合同運動会の内容を検討することが必要である。	引き続き児童・生徒の体力の向上と交流が図れるよう運営する。 【予定】令和8年10月9日(金)、港区立スポーツセンター	
1-(2)-⑩	45	—	○	MINATORISUMダンスフェスタの開催	教育長室	区内の小・中学校に通う児童・生徒を対象としたMINATORISUMダンスフェスタを開催する。	区内の公私立小・中学生を対象にダンス作品(動画)を募集し、フェスタを開催した。 ・応募総数38チーム ・開催時期:12月 ※一次審査を通過した22チームがダンスを披露 ・来場者:800人	区内の公私立小・中学生を対象にダンス作品(動画)を募集し、フェスタを開催した。 ・応募総数30チーム ・開催時期:12月 ※一次審査を通過した23チームがダンスを披露 ・出場者数:188名 ・来場者:905人	—	子どもたちにとって大勢の前で日頃の成果を披露する貴重な機会となった。プロダンサーによる審査や講評、パフォーマンス披露を通じて、本格的なダンスに触れることができる場となった。 ・生徒同士の交流を促進し、大会への出場を思い出深い。	大会の様子をまとめたダイジェスト動画や専用サイト、チラシ等を用いて、早期に事業の周知を実施していく。 ・昨年度のアンケートで明らかになった課題を踏まえ、募集部門の見直しや動画応募方法の改善、大会当日の運用について改善策を検討しながら進める	
1-(3)-①	46	—	—	スポーツセンター等での夜間の教室開催	生涯学習スポーツ振興課	働き盛り世代が仕事帰りに気軽にスポーツに取り組めるよう、夜間の教室プログラムを実施する。	ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施した。 ・243回開催 ・延べ参加者3,134人	ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施した。 ・243回開催 ・延べ参加者3,134人	—	働き盛り世代が参加しやすい方式で実施することができた。	働き盛り世代等の夜間参加者のニーズに応じたスタジオプログラムや自主事業を引き続き実施していく。	
1-(3)-②	46	—	—	子育て世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	子育て中の人々が安心してスポーツに取り組めるよう、親子で楽しむことができる運動教室などの充実に取り組む。	親子で楽しむ運動教室 ・41回開催(398組) ・延参加者976人 ベビースイミング ・60回開催(360組) ・延参加者720人 親子で楽しめる教室 ・実施回数:23回 ・参加者数:802人	親子で楽しむ運動教室 ・51回開催(422組) ・延参加者844人 ベビースイミング ・30回開催(179組) ・延参加者358人 親子で楽しめる教室 ・実施回数:46回 ・参加者数:2043人	—	親子で参加できる教室を数多く開催することができた。	引き続き、子育て中の人々も気軽に参加できる親子運動教室など、様々な種目での開催を検討していく。	
1-(3)-③	46	—	—	働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	区内企業に対し区が主催するスポーツ体験会への参加を働きかけ、働き盛り世代のスポーツ活動の活性化を図る。	働き盛り世代も参加しやすいよう、オンラインによる教室やストレッチ、足形計測イベントなどを実施した。	働き盛り世代も参加しやすいよう、オンラインによる教室やペアストレッチ、足形計測イベントなどを実施した。	—	働き盛り世代が参加しやすい方式で実施することができた。	引き続きオンラインによるプログラムの実施など、働き盛り世代など多くの人が参加しやすい実施方法を検討する。	
1-(3)-④	46	—	—	働き盛り世代への運動プログラムの周知	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	働き盛り世代がスポーツに取り組むきっかけとするため、東京都が作成するハンドブックなどを活用した周知に取り組む。	健康講座を実施したほか、東京都と東京商工会議所が連携して作成する「オフィスdeエクササイズ」働き盛り世代の運動習慣定着化ガイドブックをHP等で周知した。	健康講座を実施したほか、(健康推進課)活動実績:3回 延べ参加人数:66人	—	使用していたハンドブックの情報が古くなり、別の講座用スライドを作成した。テーマの絞り込みができておらず、スライド作成に苦慮した。	適宜スライド内容を更新し、働き盛り世代のニーズにあった健康講座を行う。	
1-(4)-①	47	—	—	高齢者向けスポーツ教室の実施	生涯学習スポーツ振興課	区内企業や大学、総合支所等と連携し、eスポーツ体験の機会を創出する。	嘉悦大学と連携協力した高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施した。 ・開催時期:7月、12月 ・場所:RED TOKYO TOWER ・参加者:82名	嘉悦大学と連携した高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施した。 ・開催回数:3回 ・場所:RED TOKYO TOWER ・参加者71名	—	eスポーツ体験イベントを実施し、高齢者を対象に、身近な場所でも気軽に行えるなど、eスポーツの魅力を提供できた。	引き続き、嘉悦大学と協力して、高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施する。	
1-(4)-②	47	—	—	さわやか体育祭の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	いきいきプラザなどの利用者が体力に応じたスポーツやゲーム、体操などを行い、親睦を深める「さわやか体育祭」を開催する。	概ね60歳以上の区民が参加する体育祭を開催し、地区を超えた交流を図るとともに、健康増進のきっかけとなる場を提供した。 ・開催時期:11月 ・場所:スポーツセンター ・参加者:300人(男性参加率9%)	概ね60歳以上の区民が参加する体育祭を開催し、地区を超えた交流を図るとともに、健康増進のきっかけとなる場を提供した。 ・開催時期:11月 ・場所:スポーツセンター ・参加者:320人(男性参加率11%)	—	地区対抗の競争性により参加者も盛り上がり、団結力やモチベーションアップにもつながった。	男性の参加率が10%を超えたが、各いきいきプラザの男性利用者により体育祭への参加を促し、さらなる男性参加者の増員を目指す。	
1-(4)-③	47	—	—	いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	60歳以上の区民を対象に、区内のいきいきプラザで卓球やウォーキングなど、多彩な教室や講座を開催する。	卓球やウォーキングのほか、施設内設置のマンツーマンウォーキングなど事業の充実を図った。 ・男性など新たな層への利用促進を図った。	卓球やウォーキングなど、多彩な教室や講座を開催した。 ・ポラテニア活動などを行っている元気な高齢者など、新たな層への利用を促進した。	—	多様な教室・講座を実施し、多くの高齢者の参加が得られたが、コロナ前の水準に戻っていないため、利用者の意見を取り入れた事業の創出が課題。	各種教室の実施にあたり、アンケート等を行い、利用者の意見を反映させ利用者の増加を図る。	
1-(4)-④	47	—	—	港区老人クラブ連合会の支援	保健福祉課/生涯学習スポーツ振興課	港区老人クラブ連合会のスポーツ活動を支援する。	地域スポーツ教室で老人クラブ連合会を対象としたヨガ教室等を実施した。 ・実施回数:21回 ・参加者数:665名	地域スポーツ教室で老人クラブ連合会を対象としたポッチャ教室等を実施した。 ・実施回数:21回 ・参加者数:1065名	—	気軽に参加できる種目で、高齢者が気軽に楽しく体を動かす機会を提供できた。	引き続き高齢者が気軽に楽しく体を動かす機会を提供していく。	
1-(5)-①	48	—	—	「みる」スポーツの機会創出	生涯学習スポーツ振興課	ラグビーの試合の区民招待など、関係団体との連携による区民のスポーツを「みる」機会を創出する。	・「セイコーゴールドングランプリ陸上2024東京」大会観戦チケットを区内在住・在勤・在学者対象に無料招待 ・「リレーフェスティバル2024」大会観戦チケットを区内在住・在学者対象に無料招待 ・東京ユナイテッドバスケットボールクラブの試合を区立小・中学生を対象に無料招待 ・国立競技場や秩父宮ラグビー場にて、ラグビーの試合を区内在住・在学者対象に無料招待 観戦機会:計5回 参加者数:1280人	・東京2025世界陸上競技選手権大会区内在住の小学生及びその引率者を300名(150組)観戦招待 ・東京ユナイテッドバスケットボールクラブの試合を区立小・中学生を対象に無料招待 ・「セイコーゴールドングランプリ陸上2025東京」大会観戦チケットを区内在住・在勤・在学者対象に2,000名無料招待 ・秩父宮ラグビー場で行われるラグビートーム東京サンゴリアスのホストゲームに港区民を対象に観戦招待・優待企画を実施	—	世界陸上で東京開催されたことで、世界大会でのトップアスリートの迫力ある競技を間近で「みる」貴重な機会を提供することができた。	引き続き、区民の「みる」機会を創出できるよう関係団体と連携を強化していく。	
1-(5)-③	48	—	—	スポーツ大会等の情報発信	生涯学習スポーツ振興課	区内で開催されるトップアスリートによる大会等の情報を発信し、区民の「みる」スポーツ活動を促進する。	区内でのスポーツ大会やスポーツイベントの情報をスポーツセンター等で掲示したほか、各種大会の案内チラシを設置した。	区内でのスポーツ大会やスポーツイベントの情報をスポーツセンターや運動場等で掲示したほか、各種大会の案内チラシを設置した。	—	パネルのほか、デジタルサイネージを活用し、効果的に情報を発信することができた。	パネル展示、デジタルサイネージやポスターの掲示等により引き続き大会の情報を発信していく。	

その他の事業

No. (基本目標・施策・事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和7年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(6)-①	49	—	—	区民大会等の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	「区民大会」、「都民体育大会港区予選会」、「都民生涯スポーツ大会港区予選会」等を開催し、区民の競技スポーツへの参加を促進する。	各大会を港区スポーツセンター等で実施した。	各大会を港区スポーツセンター等で実施した。	—	年間を通して多くの大会を開催することができた。	引き続き、スポーツセンターや運動場で大会を開催できるよう協力していく。	
1-(6)-②	49	—	—	定期練習会の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツセンター等で弓道、剣道、柔道、合気道、なぎなた等の定期的な練習の機会を提供し、実技指導を行うことで技術の向上を支援する。	年間を通して、各競技の定期練習、実技指導を行った。 ・参加者数:15,084人	年間を通して、各競技の定期練習会・実技指導を行った。 参加者数:16,118人	—	定期的な練習会を実施することで、区民の技術の向上を支援することができた。	引き続き、定期的な練習会の機会を提供し、区民のスポーツの技術力の向上を図っていく。	
1-(6)-③	49	—	—	指導員付個人公開の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツセンターで、バドミントンやバスケットボール、卓球等の定期的な練習の機会を提供し、実技指導を行うことで技術の向上を支援する。	年間を通して、各競技の定期練習、実技指導を行った。	年間を通して、各競技の定期練習、実技指導を行い多くの参加があった。	—	定期的な練習会を実施することで、区民の技術の向上を支援することができた。	引き続き、定期的な練習会の機会を提供し、区民のスポーツの技術力の向上を図っていく。	
1-(6)-④	49	—	—	トップアスリート及び企業の実業団チームとの交流	生涯学習 スポーツ 振興課	区内企業等との連携によりスポーツ教室や交流事業を実施し、トップアスリートや実業団チームから直接指導を受ける機会を創出する。	・港区×明治安田生命親子サッカー教室 参加人数:62組 ・サンゴリアスラグビー体験教室 参加人数:59人 ・サンリツ卓球選手との交流 ・Panasonicパナソニック練習見学 参加人数:30人 ・港区×明治安田生命サッカー教室 参加人数:83人	・港区×明治安田生命親子サッカー教室 参加人数:50組 ・サンゴリアスラグビー体験教室 参加人数:41人 ・港区×明治安田生命親子サッカー教室 参加人数:30人	—	トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実を図ることができた。	引き続き、様々な競技のトップアスリートやチームとの交流、連携を深め、事業機会を創出していく。	
1-(7)-①	50	—	—	積極的なスポーツ情報の提供	生涯学習 スポーツ 振興課	区ホームページやSNS等を活用し、区立スポーツ施設の混雑情報等を発信する。	・当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページで公開した。 ・人気のあるプールとトレーニングパークはリアルタイムでの混雑状況を発信した。	・当日含む3日間の館内各競技場・武道場のスケジュールをホームページで公開した。 ・人気のあるプールとトレーニングパークはリアルタイムでの混雑状況を発信した。	—	混雑状況を1時間ごとに更新するとともに、待ち状況の目安もホームページで掲載した。	引き続き、ホームページをはじめSNSを活用し、混雑情報等を発信していく。	
1-(7)-②	50	—	—	スポーツ施設等の利用に関する情報の提供	生涯学習 スポーツ 振興課	・スポーツ施設の利用案内や予約方法等について、ホームページやSNS等で広く発信する。 ・学校施設開放の利便性向上を図るため、予約手続きなどのオンライン化等を行う。	・施設に関する情報をホームページ、x等により広く周知した。 ・学校施設開放の施設予約システム導入後の利用者アンケート調査を実施した。	・施設に関する情報をホームページ、x等により広く周知した。 ・学校施設開放の施設予約システム導入後の利用者アンケート調査を実施した。	—	施設に関する情報をホームページ、x等により広く周知することで、学校施設開放事業の利便性向上を図った。	利用時間の変更などを適宜スポーツガイドマップ等に反映させるとともに、引き続き学校施設開放事業の利便性向上を図っていく。	
2-(1)-①	51	—	—	スポーツボランティア活動の普及と定着	生涯学習 スポーツ 振興課	・スポーツを「ささえる」活動として、スポーツボランティアの更なる普及と体制の整備を図る。 ・「パラスポーツメイト養成講座」を実施している港区社会福祉協議会と連携した取組を進める。	・区主催事業や民間企業や競技団体との連携により、スポーツボランティアの活動の場を確保した。 ・サポートが必要な方への対応を学ぶ講座において、社会福祉協議会を通じて手話講師を手配した。	・区主催事業や民間企業や競技団体との連携により、スポーツボランティアの活動の場を確保した。 ・受講者が重複する可能性のあるパラスポーツメイト養成講座と日程調整を行うなど、港区社会福祉協議会と協力した。	—	関係団体と連携したボランティアの場の確保により、スポーツボランティア活動の増加に繋がることができた。	引き続き、関係団体と連携し、スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図っていく。	
2-(1)-②	51	—	—	ボート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	・各競技やボランティアに関する知識を学ぶ講座を実施し、ボランティアリーダーとなる人材の育成に取り組む。 ・スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図る。	講座(年7回)及び実践活動を実施した。 ・講座参加者数:延79名 ・実践活動参加者数:延73名	講座(年7回)及び実践活動を実施した。 ・講座参加者数:延74名 ・実践活動参加者数:延109名	—	・若年層の会員を増やすため、ボランティアの登録年齢を18歳以上から中学生を除く15歳以上に引き下げた。 ・スポーツボランティアへの参加拡大・人材の育成に取り組むことができた。	・引き続き、講座実施によりボランティアリーダーとなる人材の育成に取り組むとともに、登録者の増加のため、HPやSNSの周知を充実していく。 ・講座参加者の意見を取り入れた講座を行うなど、内容の充実を図っていく。	
2-(2)-②	52	—	—	武道における外部指導員の活用	教育指導 担当	区立中学校における武道の授業に地域人材などを外部指導員として配置し、技術面の向上と安全面に配慮した指導を行う。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら専門性の高い指導を行った。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら専門性の高い指導を行った。	—	・専門性の高い外部講師を各学校に配置することで、より効果的な指導を行うことができた。 ・講師には各学校の実態に即した指導を行うよう依頼する必要がある。	引き続き、区立中学校における武道の授業に地域人材等を外部指導員として配置し、専門家の指導による技術面の向上を図るとともに、安全面に配慮した指導を行う。	
2-(3)-②	54	—	—	スポーツ推進委員協議会の活動支援	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツ推進委員の資質向上に向け、障害者スポーツや誰もが気軽に楽しめるニュースポーツを推進するための研修を実施するほか、協議会の活動を支援する。	・広域地区別研修に向けてのプレ研修 ・関東スポーツ推進委員研究大会 ・広域地区別研修(第一ブロック)※千代田区幹事区 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 ・救命救急資格取得研修 ・管外研修	主な研修・取り組み ・関東スポーツ推進委員研究大会(山梨県) ・広域地区別研修(第一ブロック)※千代田区幹事区 ・全国スポーツ推進委員研究協議会(長野県) ・救命救急資格取得研修 ・制度発足60周年記念講演会	—	障害者スポーツをはじめ各種研修を実施した。関東・全国スポーツ推進委員研究大会への参加を支援したことで、資質向上につなげることができた。	引き続き、スポーツ推進委員の資質向上に向け、障害者スポーツやニュースポーツの研修を実施するなど活動を支援する。	
2-(3)-③	54	—	—	(一財)港区体育協会への支援	生涯学習 スポーツ 振興課	(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会等への助成を行う。	(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会に係る講師謝礼費用等について支援した。 ・助成競技団体数:33団体	(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会に係る講師謝礼費用等について支援した。 ・助成競技団体数:33団体	—	講習会を通じて技術の向上等を支援することができた。	引き続き、競技力の強化や指導者の育成などを行う講習会等を支援する。	
2-(3)-④	54	—	—	社会体育団体への支援	生涯学習 スポーツ 振興課	社会体育団体が指導者育成や資格取得等のために実施する講習会や研修会に係る費用を助成する。	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼について支援した。 ・助成団体数:16団体	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼について支援した。 ・助成団体数:17団体	—	団体への周知に際し事業目的や条件を分かりやすくするよう記載を見直し、支援制度の利便性向上を図ることができた。	引き続き、団体に対し丁寧な事業周知を行い、社会体育団体の活動を支援する。	

その他の事業

No. (基本目標-事業)	掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している事業・取組の内容	実績			実績が計画と異なる理由	令和7年度の評価と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
2-(4)-①	55	—	—	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	生涯学習スポーツ振興課	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、区内の観光資源を活用したスポーツの催し物を開催するなど、区民のスポーツ活動の普及に取り組む。	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウィンドサーフィン体験教室、SUPヨガ体験教室などの地域特性を生かした事業を実施した。 ・実施回数:7回 ・参加者数:239人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウィンドサーフィン体験教室、SUPヨガ体験教室などの地域特性を生かした事業を実施した。 ・実施回数:9回 ・参加者数310人	—	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、多様な事業を実施することができた。	区民のスポーツに対する興味や関心を高めていくために、引き続き魅力的な事業を展開していく。	
2-(4)-②	55	—	—	(一財)港区体育協会との連携	生涯学習スポーツ振興課	(一財)港区体育協会と連携し、次代を担う青少年の健全育成、子どもから高齢者の健康増進となる様々なスポーツの振興に取り組む。	(一財)港区体育協会、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団、指定管理者とて定期的に情報共有を行い、連携を図った。	(一財)港区体育協会、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団、指定管理者とて定期的に情報共有を行い、連携を図った。	—	各競技団体の強化、競技力の向上に向けて事業を実施することができた。	事業の内容をより充実させるため、連携を深めていく。	
2-(4)-③	55	—	—	競技団体との連携	生涯学習スポーツ振興課	地域社会におけるスポーツの発展を目的として、区と競技団体が互いに有する資源を活用し、スポーツ振興を図る。	・連携協定に基づき、ラグビーの試合観戦やタグラグビー体験教室を実施した。 ・日本障がい者サッカー連盟と連携して障がい者サッカーイベント等を実施した。	・連携協定に基づき、ラグビーの試合観戦やタグラグビー体験教室を実施した。 ・日本障がい者サッカー連盟と連携して障がい者サッカーイベント等を実施した。	—	トップアスリートやトップチームとの交流の機会を設けることで、区民のスポーツ活動の充実に取り組めた。	引き続き、トップアスリートやトップチームとの交流の機会を設けることで、区民のスポーツ活動の充実に取り組む。	
2-(4)-④	55	—	○	団体支援を通じたスポーツ振興の充実	生涯学習スポーツ振興課	港区版ふるさと納税制度における寄付金の一部を活用し、区内のスポーツ活動団体を支援する。	(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会に係る講師謝礼などを支援した。 ・助成競技団体数:33団体	(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会に係る講師謝礼費用等について支援した。 ・助成競技団体数:33団体	—	講習会を通じて技術の向上等を支援することができた。	競技力の強化や指導者の育成など、目的に沿って開催される講習会等へ助成を継続する。	
3-(1)-①	56	—	—	区立スポーツ施設等の充実	生涯学習スポーツ振興課	区立スポーツ施設等について、バリアフリーや利用者ニーズを踏まえた機能拡充などに取り組み、区民が気軽かつ安全にスポーツを楽しめる環境を整備する。	・スポーツセンターの入退場管理システムの入れ替えや券売機のキャッシュレス化を実施した。 ・熱中症対策として野球場のダグアウトに扇風機を設置した。	補正予算を計上し、芝浦中央公園運動場大規模改修工事に向けた基本計画策定に着手した。	—	港区公共施設マネジメント計画におけるスケジュールの前倒し・短縮化の整理ができた。	令和9年度 基本設計・実施設計 令和10年度～11年度 大規模改修工事	
3-(1)-②	56	—	○	新たなスポーツ施設の整備	生涯学習スポーツ振興課	多目的のスポーツ競技での利用が可能な施設を北青山三丁目に整備する。	・(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設の整備を進めた(実施設計中)。 ・元麻布三丁目複合施設の中に弓道場及び多目的室(運動スペース)を整備することを決定した。	・(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設の整備を進めた(実施設計完了)。 ・弓道場及び多目的室(運動スペース)を含む元麻布三丁目複合施設の整備計画の検討を進めた(整備計画作成中)。	—	・(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設の整備を進めた(実施設計完了)。 ・弓道場及び多目的室(運動スペース)を含む元麻布三丁目複合施設は、整備計画策定に着手した。	北青山三丁目地区スポーツ施設 令和8年6月 工事着工 令和12年6月 建物竣工 元麻布三丁目複合施設 令和9年度 基本設計x 令和10年度 実施設計 令和11年度～13年度 工事	
3-(1)-③	56	—	○	スポーツ施設の計画的な維持保全	生涯学習スポーツ振興課	スポーツ施設を計画的に維持保全するため、中長期的な視点での維持管理及び改修計画の策定に取り組む。	運動場工作物の健全度調査を実施した。	運動場工作物の健全度調査結果を踏まえ、維持管理計画のたたき台を作成した。	—	令和8年度改定予定の港区公共施設マネジメント計画との整合を図る調整が必要。	令和8年度に維持管理方針として完成させる。	
3-(1)-④	57	—	—	公園や児童遊園、歩道の整備	土木課	・地域の子供たちが安全に遊べる児童遊園を整備する。 ・無電柱化の推進等により、楽しく安全に歩ける環境を整備する。	・地域の声を反映した基本設計に基づき、令和6年度に「六本木三丁目児童遊園」を整備した(令和7年4月供用開始予定)。 ・明舟公園を新規整備し、令和6年8月に供用開始した。 ・新浜公園を再整備し、令和7年3月に供用開始した。	・六本木三丁目児童遊園を再整備し、令和7年4月に供用開始した。 ・再開発事業で我善坊横川省三記念公園を整備し、令和7年12月に供用開始した。	—	公園や児童遊園整備の際は、懇談会等を開催し、地域の方々の声を反映するとともに、すべての人たちが安心して集える魅力ある公園や児童遊園の整備を進めている。	地域の子供たちが安全に遊べる身近な場所や地域のコミュニティ形成の拠点のひとつとして、すべての人にとって安心して集える魅力ある公園や児童遊園を整備する。	
3-(1)-⑤	57	—	—	校庭の整備等、学校における運動環境の充実	学務課/学校施設担当	・小学校の校庭改修の際に人工芝を導入するなど、安全性や機能性、維持管理面を考慮して整備を進める。 ・学校の運動器具や用具を充実する。	・赤坂小学校校庭に人工芝を導入した。 ・高松中学校にボルダリング設備を設置した。	・南山小学校校庭に人工芝を導入した。 ・白金台幼稚園の遊具の更新設計を実施した。	学校との調整により、人工芝や運動器具、遊具及び用具等の導入を行うため、具体的な目標を定めていない。	幼稚園と調整を実施し、幼稚園の特性に合わせた遊具の更新について進めることができた。	引き続き、学校と協議を行い、人工芝や運動器具、遊具及び用具等の整備を希望する学校への導入を行っている。	
3-(1)-⑥	57	—	—	プレーパークの推進	各総合支所まちづくり課/土木課	子どもがのびのびと思い切り遊べる冒険遊び場(プレーパーク)づくりに取り組む。	【麻布】有栖川宮記念公園4回 【高輪】高輪森の公園171回 【芝浦港南】亀塚公園40回 港南三丁目遊び場 28回	【麻布】有栖川宮記念公園4回 【赤坂】北青山一丁目児童遊園1回 【高輪】高輪森の公園177回 亀塚公園40回 【芝浦港南】港南三丁目遊び場 28回	—	みなと外遊びの会による出張プレーパークを赤坂地区で初めて実施し、好評だった。プレーパークを実施する地域区民の人材発掘につなげていきたい。	プレーパークの常設化に向けて支援していくとともに、出張プレーパークの実施を取り入れながら、開催できる公園等を拡げていく。	
3-(2)-①	57	—	—	校庭・体育館等の開放	生涯学習スポーツ振興課	地域の人のスポーツ活動の場として、区立小・中学校の校庭及び体育館を開放する。	令和6年度利用実績:21,640件 416,838人	令和7年度利用実績:22,972件 415,453人	—	学校設備の破損が複数発生し、破損させた団体が報告しないことによる対応の遅れが発生した。	令和7年度末に一般団体の登録要件を見直し、要件に合致しない団体が登録更新を辞退等したため、団体数が減少した。施設利用時の遵守事項を徹底するよう周知するとともに、団体が活動しやすくなるよう適切な運営を行う。	
3-(2)-②	58	—	—	学校屋内プールの開放	生涯学習スポーツ振興課	・誰もが身近なところでスポーツに親しめるよう、区立小・中学校の屋内プールを開放する。 ・学校屋内プールの利用を一層促進するため、水泳教室の充実や利用方法の改善に取り組む。	【一般開放】開放校:7校 利用者数:54,672人 【水泳教室】実施回数合計:554回 参加者数合計:3068人	【一般開放】開放校:9校 利用者数:68,915人 【水泳教室】実施回数合計:525回 参加者数合計:2915人	—	【水泳教室】ホームページ等で周知を行い、効果的に実施できた。	【水泳教室】今後も通年を通して、多くの参加者の申し込みがあるよう周知の幅を増やし、実施する。	
3-(2)-③	58	—	—	遊び場開放事業の実施	生涯学習スポーツ振興課	地域の児童・幼児の安全な遊び場として区立小学校の校庭及び体育館を開放する。	実施校:18校 参加者数:1,682人	実施校:19校 参加者数:1,663人	—	走り方教室やストリートサッカーなど様々なイベントを実施して、多くの方にご参加いただいた。通常開放の利用者数が昨年度より減少した。	令和8年度も協力してくれる事業者・団体とスポーツイベントを実施し、子どもたちの運動機会の創出を目指す。事業の周知についても引き続き行っていく。	
3-(2)-④	58	—	—	園庭等の開放	学務課	未就園児に対して、区立幼稚園の園庭や園舎などを開放し、遊び場を提供する。	実施園:12園 参加者数:延べ2,681人	実施園:12園 参加者数:延べ2,589人	—	過去の参加者数と比べ遜色なく、多くの方に利用していただけた。	これまでと同じく未就園児に対して園庭等を開放することで、区立幼稚園の魅力を感じてもらい、親しみを持ってもらおう交流の機会を設ける。	

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和7年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
3-(3)-①	58	—	—	企業・大学等の スポーツ施設等 の活用	生涯学習 スポーツ 振興課	区内の企業や大学等と連携し、区 と大学等の所有する知識や施設等 を最大限活用したスポーツ活動の 場の拡充に努める。	・JX金属株式会社の剣 道場を港区剣道連盟の 活動場所として活用し た(令和6年度は6回) ・区内上場企業348事 業所に、区内外に保有 するスポーツ施設等に 関するアンケート調査を 実施中(令和6年度～7 年度)。	・JX金属株式会社の剣 道場を港区剣道連盟の 活動場所として活用し た(令和7年度は6回) ・区内上場企業348事 業所に、区内外に保有 するスポーツ施設等に 関するアンケート調査結 果をまとめた。		—	民間が保有するス ポーツ施設は、施設 数も開放意欲も低 いことが明らか になった。	・JX金属株式会社の剣道場 の活用については継続する。 ・需要調査結果を踏まえ、遠 方ではなく、近場で活用でき る施設がないか、注視してい く。
3-(3)-②	58	—	—	区外における運 動施設の活用	生涯学習 スポーツ 振興課	区外にある運動施設を活用できる よう検討する。	・区内上場企業348事 業所に、区内外に保有 するスポーツ施設等に 関するアンケート調査を 実施中(令和6年度～7 年度)。	・区内上場企業348事 業所に、区内外に保有 するスポーツ施設等に 関するアンケート調査結 果をまとめた。		—	民間が保有するス ポーツ施設は、施設 数も開放意欲も低 いことが明らか になった。	需要調査結果を踏まえ、遠方 ではなく、近場で活用できる 施設がないか、注視してい く。
4-(1)-①	59	—	—	障害者のスポ ーツ教室の開催	障害者福 祉課	障害のある人を対象に、身体を動 かし健康の増進を図る「リフレ ッシュ体操」等の講座を実施する。	障害のある人を対象と した講座を実施した。 ・24講座 ・延158名参加	障害のある人を対象と した講座を実施した。 ・25講座 ・延204名参加		—	対象者の特性に 合った支援をしな がら実施した。	幅広い内容の講座を実施す ることにより、障害者の交流 の機会の確保と、障害者自身 の自己啓発に役立つよう支援 していく。
4-(1)-②	59	—	—	いちよう学級 の実施	障害者福 祉課	知的障害者がレクリエーション・ 自然体験などを行う「いちよう学 級」を実施する。	・年間活動回数:13回 ・受講者数:延514人	・年間活動回数:13回 ・受講者数:延423人		—	・支援者の当日キャン セルにも備えた システム作りが課 題。 ・受講者の年齢層 が幅広く人数も増 えているため、それ ぞれに対応した取 組の実施やより多 くの支援者の確保 が必要。	事業所とより密接な連携を図 り、運営方針について詳細な 計画を共有していく。
4-(1)-③	59	—	—	パラスポーツ指 導員の配置	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者が気軽にスポーツに親しめ るよう、(公財)日本パラスポ ーツ協会が認定する「パラスポ ーツ指導員」を区立スポーツ施設に順 次配置する。	パラスポーツ指導員を 港区スポーツセンターと 区立運動場に併せて14 名配置した。	パラスポーツ指導員を 港区スポーツセンターと 区立運動場に併せて14 名配置した。		—	各運動施設に指導 員を適年配置す ることができた。	さらに指導員を増やすこと で各施設に常時指導員が いる状況をつくっていく。
4-(1)-④	59	—	—	スポーツ活動の 場の確保	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者が気軽に日常的にスポーツ を楽しむ機会を提供する「だれ でもスポーツ開放事業」を実施す る。	日本障がい者サッカー 連盟との連携により サッカーボールを用い たレクリエーションや ブラインドサッカー体験 ができる「だれでもス ポーツ開放事業」を毎月第2・ 4水曜に実施した。 同イベント内で、知的障 害や発達障害のある子 どもを対象にしたサッ カー体験教室を実施 した。	日本障がい者サッカー 連盟との連携により サッカーボールを用い たレクリエーションや ブラインドサッカー体験 ができる「だれでもス ポーツ開放事業」を毎月第2・ 4水曜に実施した。 同イベント内で、知的障 害や発達障害のある子 どもを対象にしたサッ カー体験教室を実施 した。		—	障害者が気軽にス ポーツを楽しむ機 会を定期的に提供 することができた。	引き続き、日本障がい者サッ カー連盟との連携して、障害 者が気軽に日常的にスポーツ に親しむ機会を提供する。
4-(2)-①	60	—	—	障害者スポ ーツ用具の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者が気軽にスポーツに親しめ るよう、様々な障害に対応したス ポーツ用具の充実を図る。	・スポーツセンターア リーナ及びサブアリーナ の床面に強化コーテ ィングを施し、車椅子で利 用しやすい環境を整 えた。	麻布運動場の利用者 の通路の路面を補修 した。		—	路面の凹凸が解消 された。	引き続き、必要に 応じて対応してい く。
4-(2)-②	60	—	—	障害者のス ポーツ環境の整備	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者が安心して利用できるよ う、スポーツ施設のバリアフリー 化に取り組む。	スポーツセンターア リーナ、サブアリーナ の床面に強化コーテ ィングを施し、車椅子 で利用しやすい環 境を整えた。	麻布運動場の利用者 の通路の路面を補修 した。		—	路面の凹凸が解消 された。	引き続き、必要に 応じて対応してい く。
4-(3)-①	61	—	—	障害者スポ ーツの交流・体験 会の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	障害のある人となない人が一緒 にスポーツを楽しむ、交流する場 を提供する。	障がい者スポーツの集 い ※ポッチャやサウン ドテーブルテニスな どを実施 ・開催日:令和6年11 月10日(日) ・参加者数:85人	障がい者スポーツの集 い ※ポッチャ、玉入れ、 ボウリング、パン取 り競争などを実施 ・開催日:令和7年11 月9日(日) ・参加者数:99人		—	障害者福祉課やス ポーツ推進委員と 連携し、障害のある 人もない人も、と もにスポーツに親 しめるイベントを 実施できた。	参加者の増加を図るため、周 知を強化していく。
4-(3)-②	61	—	○	教育プログラ ムの実施	生涯学習 スポーツ 振興課	障害理解や多様性への気づきを学 ぶプログラムのほか、デフスポ ーツ体験や手話での交流機会の創 出に取り組む。	「JIFFインクルーシ ブ教育プログラム」を5校16 教室で実施した。	JIFFインクルーシ ブ教育プログラムを5校11 教室で実施した。		—	JIFFインクルーシ ブ教育プログラム を実施することで、 障害理解や多様性 への気づきを学ぶ 機会を提供した。	引き続き、日本障がい者サッ カー連盟と連携して、JIFFイ ンクルーシブ教育プログラム を実施する。
4-(3)-④	61	—	—	障害者スポ ーツ大会等の誘致	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツの観戦、選手との 交流や体験の機会を提供し、障 害者スポーツに触れる機会を創出 する。	電動車椅子サッカー、 ブラインドサッカーの親 善試合を実施し、観 戦機会や小中学生 との交流の機会を 創出した。	電動車椅子サッカー、 ブラインドサッカー の親善試合を実施し 、観戦機会や小中 生との交流の機会 を創出した。		—	障害者スポーツの 観戦や選手との交 流の機会を創出し 、障害者スポーツ の普及啓発の促進 を図ることができ た。	引き続き、電動車椅子サッ カー、ブラインドサッ カーなど障害者スポ ーツの観戦機会や 選手との交流の機 会を創出する。
4-(4)-①	63	—	—	障害者スポ ーツの理解の推進	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツを題材とした研修 や区内での障害者スポーツの体 験イベント等を実施し、障害者 スポーツへの理解促進を図る。	日本障がい者サッ カー連盟と連携した 「だれでもスポ ーツ開放事業」に おいて、ブライン ドサッカー体験等 の体験機会を毎月 2回実施した。	日本障がい者サッ カー連盟と連携し た「だれでもス ポーツ開放事業」 において、ブラ インドサッカー 体験等の体験機 会を毎月2回実 施した。		—	日本障がい者サッ カー連盟と連携 することで、定期 的に障害者スポ ーツ活動場所 確保とあわせ 体験機会を提 供できた。	「だれでもスポ ーツ開放事業」 の参加者が 増えるよう積 極的に周知 していく。
4-(4)-②	63	—	—	障害者スポ ーツの普及・啓 発	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツ体験会の実施や障 害者スポーツ団体の定期的な活 動場所の確保、SNS等での情報 発信により障害者スポーツの普 及を図る。	日本障がい者サッ カー連盟と連携し、ブラ インドサッカーチームの 練習場所を提供する とともに、障害者サッ カーの体験を行 った。	日本障がい者サッ カー連盟と連携し、 ブラインドサッ カーチームの練習 場所を提供する とともに、障害 者サッカーの 体験を行った。		—	定期的な活動場 所の確保と障害 者スポーツの普及 に協力を進め ることができた。	多くの区民に障害者スポ ーツを普及できるよ う、競技団体 との連携を深め、 体制をつ くっていく。
4-(4)-③	63	—	○	障害者サッ カーを通じた共 生社会の実現	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者サッカーの体験機会の提供 や障害者サッカー選手との交流 事業等を実施などにより、障 害者スポーツの振興と理解促進、 共生社会の実現に取り組む。	・障がい者サッカー を通じて障害理解 や多様性を学ぶ「 JIFFインクルーシ ブ教育プログラム」 を小中学校5校16 教室で実施した。 ・「だれでもス ポーツ開放事業」 の事業内イベント として、知的障 害のある子ども を対象に、障 がい者サッカー 連盟専門のコー チや保護者と一 緒にサッカーを 楽しむ機会を提 供した。 ・「知的障 害や発達障 害のある子ども を対象に、専門 コーチの指導 のもとで安心 してスポーツを 楽しむ機会を 提供することが できた。	・障がい者サッカー を通じて障害理解 や多様性を学ぶ「 JIFFインクルーシ ブ教育プログラム」 を小中学校5校11 教室で実施した。 ・「知的障 害や発達障 害のある子ども を対象に、専門 コーチの指導 のもとで安心 してスポーツを 楽しむ機会を 提供することが できた。		—	小中学校での教育 プログラムでは、 障害理解や多様 性を学ぶプログラ ムを提供した。 ・「知的障 害や発達障 害のある子ども を対象に、専門 コーチの指導 のもとで安心 してスポーツを 楽しむ機会を 提供することが できた。	引き続き、日本障がい者サッ カー連盟と連携して、JIFFイ ンクルーシブ教育プログラム や障害のある子ども向けに サッカー体験教室を実施 する。

その他の事業

No. (基本目標・ 施策・事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和7年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
5-(1)-①	65	—	—	観光資源を活用したスポーツ活動の実施	生涯学習スポーツ振興課	区内の名所を見物するまち歩きなど、観光資源を活用した催し物などによるスポーツ振興に取り組む。	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロギング」を実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:67人	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロギング」を実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:45人	—	区内の観光名所を巡ることで港区の魅力を知ってもらいながら、身体を動かすこともできるという効果的な事業を展開することができた。	区内にある多くの観光資源を、地域ごとに偏りなく活用できるように進めていく。	
5-(1)-②	65	—	—	立地特性を生かした催し物の実施	生涯学習スポーツ振興課	お台場駅伝大会やウインドサーフィン、ビーチヨガ、トライアスロン教室、お台場ブラージュ等を開催する。	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン体験教室、SUPヨガ体験教室などの地域特性を生かした事業を実施した。 ・実施回数:7回 ・参加者数:239人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン体験教室、SUPヨガ体験教室などの地域特性を生かした事業を実施した。 ・実施回数:9回 ・参加者数:310人	—	お台場の海を活用した事業を行うことができた。	引き続き、地域特性を効果的に生かした事業を検討していく。	
5-(2)-②	66	—	—	企業との連携協定	生涯学習スポーツ振興課	区内企業との連携により、トップレベルのアスリートやプロスポーツチームなどの資源を生かしたスポーツ振興事業を創出する。	・港区×明治安田生命親子サッカー教室 参加人数:62組 ・サンゴリアスラグビー体験教室 参加人数:59人 ・サンリツ卓球選手との交流 ・Panasonicパンサーズ練習見学 参加人数:30人 ・港区×明治安田生命サッカー教室 参加人数:83人	・港区×明治安田生命親子サッカー教室 参加人数:50組 ・サンゴリアスラグビー体験教室 参加人数:41人 ・港区×明治安田生命サッカー教室 参加人数:30人	—	トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実を図ることができた。	引き続き、様々な競技の開催などで継続したスポーツ活動の機会を創出していく。	
5-(2)-③	66	—	—	ラグビーを生かしたスポーツ振興	生涯学習スポーツ振興課	ラグビーの観戦機会の提供やラグビー教室等を実施し、スポーツ活動への機運継続に取り組む。	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのラグビー教室や初心者ラグビー教室、教職員指導者向けラグビー教室、障がい者ラグビー教室を実施した。 ・実施回数:185回 ・参加者数:5,274人	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのラグビー教室や初心者ラグビー教室、教職員指導者向けラグビー教室、障がい者ラグビー教室を実施した。 ・実施回数:176回 ・参加者数:5,280人	—	ラグビー教室等でスポーツ活動の機運継続を図ることができた。	引き続き、ラグビー教室の開催などで継続したスポーツ活動の機会を提供していく。	
5-(2)-④	67	—	—	総合支所の地域事業を通じたスポーツの推進	生涯学習スポーツ振興課	総合支所と連携し、様々なスポーツ活動の機会の提供に取り組む。	芝浦港南支所と連携し、みなとパーク芝浦フェスティバルにおいて障がい者サッカーレガシーマッチ2025を実施した。	芝浦港南支所と連携し、みなとパーク芝浦フェスティバルにおいて障がい者サッカーレガシーマッチ2026を実施した。	—	総合支所と連携し、地域に根付いたスポーツ活動の機会の提供できた。	引き続き、総合支所と連携し、地域に根付いたスポーツ活動の機会の提供に取り組む。	
5-(3)-③	68	—	—	東京2020大会のレガシーの継承	生涯学習スポーツ振興課	区民のスポーツ活動の活性化と定着をめざすため、区内で行われる子ども等を対象とするスポーツの大会や体験会の運営を支援する。	・区内で行われるスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を支援した。 ・区内で行われるスポーツ大会等のイベントにスポーツボランティア(PS SC)を派遣し、運営を支援した。	・区内で行われるスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を支援した。 ・区内で行われるスポーツ大会等のイベントにスポーツボランティア(PS SC)を派遣し、運営を支援した。	—	区内で行われるスポーツイベントに対して、運営経費の支援やスポーツボランティアの派遣による運営支援によって、区民のスポーツ活動の活性化と定着を図った。	引き続き、区民のスポーツ活動の活性化と定着を図るため、区内で行われるスポーツイベントの運営を支援する。	
5-(4)-①	69	—	—	先端技術を活用した新たなスポーツの楽しみ方の創出	生涯学習スポーツ振興課	区内企業や大学等と連携し、VRやARなどの技術も活用したeスポーツ体験の取組を推進する。	VRやARの技術を体験できるRED TOKYO TOWERで、嘉悦大学と連携協定した高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施した。 ・開催時期:7月、12月 ・参加者数:82名	VRやARの技術を体験できるRED TOKYO TOWERで、嘉悦大学と連携協定した高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施した。 ・開催時期:7月、12月、2月 ・参加者数:71名	—	VRやARの技術を活用した新たなスポーツの楽しみ方を体験する機会を提供した。	引き続き、区内企業や大学等と連携し、先端技術を活用した新たなスポーツを楽しむ機会の創出を図る。	
6-(1)-①	70	—	—	健康づくり自主グループの育成及び支援	健康推進課	健康づくり自主グループの活動を支援するとともに、情報提供やポスター・ちらしの施設への掲示等を行う。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	—	今年度も自主グループの会員の方々から多くの喜びと感謝の声を聞くことができた。今後、発表会等のイベントができればよいと思う。	自主グループによる定期的な活動は、生きがい創出し、長期間継続して運動するきっかけとなるため、今後も支援を続けていく。	
6-(1)-②	70	—	—	健康づくりサポーターの育成及び支援	健康推進課	健康づくりに取り組んでいる「健康づくりサポーター」の活動を通じて、地域の区民が身近な場所で自主的に健康づくりを継続できるように支援する。	・健康づくりサポーターの活動を広報で周知した。 ・各団体がチラシを作成し、活動を関係各所に周知した。 ・区ホームページでも新規団体や活動実績等の紹介を随時更新した。 活動実績:22回 延参加者数:2048人	・健康づくりサポーターの活動をホームページ、広報で周知した。 ・各団体がチラシを作成し、活動を関係各所に周知した。 ・区ホームページでも新規団体や活動実績等の紹介を随時更新した。 活動実績:15回 延参加者数:255人	—	新規団体の登録がある一方、毎年度末の更新等で活動状況を確認した結果、休眠団体や所在不明の団体が約20団体確認できた。	・新規登録を希望する団体が多く、今後も増加が見込まれる。 ・既存の団体、新規登録団体について、区ホームページでのサポーター紹介や活動紹介をしていく。	
6-(1)-③	70	—	—	ウォーキング&サイクリングマップを活用した日常的な健康づくり	健康推進課	ウォーキング&サイクリングマップを活用した身近な場所での運動や日常生活でのちょっとした運動により、運動習慣の定着を図る。	区有施設をはじめ、希望者にマップを配布して活用を促した。東京都が作成するトーキョーウォーキングマップ(ホームページ)へ、港区が作成したウォーキングコースを6コース反映させた。	区有施設をはじめ、希望者にマップを配布して活用を促した区HPのQRコードをカードサイズで作成し、持ち帰りやすい工夫をした。	—	カードサイズにしたことで若者がアクセスしやすくなったが、高齢者は依然紙媒体を好む傾向があり、今後の媒体の検討が必要。	古くなったマップデータの修正を行う。媒体を検討し、幅広い世代に活用していただけるよう工夫する。	
6-(1)-④	71	—	—	健康講座の開催	健康推進課	成人を対象とした、生活習慣病の予防、健康の保持増進に関する健康講座を実施する。	体の状態が把握できる姿勢測定や、実践的な運動講座を実施した。 ・実施回数:3回 ・参加人数:55人	体の状態が把握できる姿勢測定や、実践的な運動講座を実施した。 ・実施回数:3回 ・参加人数:82人	—	働き盛りが参加しやすいよう健康講座を土曜開催にしたが、予約開始数日で定員に達した。定員数を増やせるよう工夫が必要。	今後も健康講座を継続して実施し、区民の健康増進を図っていく。引き続きオンライン申請を活用する。	

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和7年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
6-(1)-⑤	71	—	—	「港区子ども健康読本」の発行	健康推進課	「港区子ども健康読本」をWEB上で公開し、学童期からの健康全般に関する知識の普及を図る。	・小学生がタブレットで子ども健康読本を見ることができるよう対応した。 ・内容の見直しと、学校保健と保健所の情報交換会を実施した。	・小学生がタブレットで子ども健康読本を見ることができるよう対応した。 ・内容の見直しと、学校保健と保健所の情報交換会を実施した。	—	—	子ども健康読本の内容について定期的な見直しが必要	「港区地域保健と学校保健連絡会」を定期的に開催し子ども健康読本の内容を検討するとともに学校保健との情報交換を行い、学童期からの健康全般に関する知識の普及に取り組み。
6-(1)-⑥	71	—	—	子どもの健康な身体づくりに向けた食育の推進	学務課	「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム(家編)」を活用し、子どもが生涯にわたり健康と体力を維持できる能力を獲得するための食育を推進する。	・「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム(家編)」をホームページに掲載し、活用を周知した。 ・学校給食で提供した米粉メニューのレシピをホームページで紹介し、学校での食育との繋がりをもちた情報提供を行った。	・「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム(家編)」をホームページに掲載し、活用を周知した。 ・学校給食で提供した米粉メニューのレシピをホームページで紹介し、学校での食育との繋がりをもちた情報提供を行った。	—	—	ホームページ等を活用し、家庭での食育の取組を継続的に推進した。	引き続き、家庭での食育の取組を支援していく。
6-(1)-⑦	71	—	—	「親子ふれあいひろば」での催し物の開催	子ども家庭支援センター	子ども及び家庭に関する相談に応じ、必要な支援の実施や情報提供を行う。	スタッフや子育て・まちづくり支援プロデューサーが中心となり、親子参加型のプログラムを毎日実施した。	スタッフや子育て・まちづくり支援プロデューサーが中心となり、親子参加型のプログラムを毎日実施した。	—	—	様々なプログラムを実施して親子の心身の健康増進を図ることができた。	隣接する地域交流室(カフェ)の土日営業に伴い、利用者の増加を見越した親子が楽しめるプログラムを実施する。
6-(2)-①	72	—	—	介護予防を担う人材の養成	高齢者支援課	介護予防リーダーや体操マスター、介護予防サポーターを養成し、介護予防事業や介護予防体操の普及活動を実施する。	・介護予防リーダー養成講座を実施:12名養成 ・介護予防サポーター養成講座を実施: ①介護予防総合センター12名養成 ②いきいきプラザ3名養成 ・介護予防コネクターフォローアップ研修の実施:2回	・介護予防リーダー養成講座を実施:17名養成 ・介護予防サポーター養成講座を実施:9名養成(介護予防総合センターの他、いきいきプラザでも開催) ・介護予防コネクター養成講座を実施:207名養成	—	—	就労層の参加を促すため土曜日も講座を開催し、養成者数の増加に繋がった。また新たに介護予防コネクター(近所のロコモ後)の養成を行い、地域の介護予防の普及啓発に繋がった。	引き続き、介護予防総合センターだけでなく他地区のいきいきプラザ等で講座を開催し、参加者を増やしていく。さらに幅広い世代に参加してもらうため、休日や夜間での開催を検討していく。
6-(2)-②	72	—	—	介護予防体操(みんなといきいき体操)の普及	高齢者支援課	介護予防体操(みんなといきいき体操)の普及を推進する。介護予防体操を実施するとともに、区民へのDVDの貸出、動画配信に取り組む。	・いきいきプラザ等施設で「いきいき体操」実施するほか「みなと区民まつり」「介護予防フェスティバル」など区のイベント等で体操マスターによるいきいき体操披露を実施した。 ・区内のいきいきプラザ等へ依頼し体操マスターを派遣した。実施施設19 体操マスター披露回数18回 体操マスター派遣回数27回	・いきいきプラザ等施設で「いきいき体操」実施するほか「みなと区民まつり」「介護予防フェスティバル」など区のイベント等で体操マスターによるいきいき体操披露を実施した。 ・区内のいきいきプラザ等へ依頼し体操マスターを派遣した。実施施設11 体操マスター披露回数20回 体操マスター派遣回数35回	—	—	体操マスターの養成やフォローアップ、活動支援のほか、関係機関に協力を仰ぐことで活動の拠点や機会を増やす工夫を行った。区民まつりやフェスティバルなど全年齢対象のイベントで若い世代にも周知を行った。	ホームページ等のSNSを活用し、体操マスターの活動や派遣事例の紹介などのプロモーションを行うことにより、広く区民に普及啓発をしていく。派遣先の確保のため積極的に各関係施設に声掛けし、介護予防体操の普及啓発を推進していく。
6-(2)-③	72	—	—	介護予防事業の充実	高齢者支援課	・運動機能、生活機能、栄養状態の維持・向上を図るため、魅力ある効果的な事業や教室を実施するとともに、介護予防事業の普及促進に取り組む。 ・個々の生活に合わせて多くの人が介護予防に取り組めるよう、多様な介護予防プログラムを実施する。	・「自宅でオンラインエクササイズ」では施設に来館せずに自宅で事前事後の測定・評価を行えるウェアラブル端末を使用したデジタル体力測定を導入した。 ・介護予防総合センターだけでなく、各いきいきプラザ等で「低栄養・生活習慣改善教室」を実施した。	・具体的に体の歪みやズレを可視化・数値化することで利用者に改善案を提案できるAI姿勢分析ソフトを新たに導入した。 ・介護予防総合センターにてZoomの体験会や使い方講座、主催者簡単講座等のICTを活用した講座を実施した。	—	—	・ICTを活用した介護予防に関する情報を区民や各関係機関等に発信し、連携する機会を増やすことができた。 ・施設以外でも高齢者が自らの生活に合わせて介護予防に取り組めるよう、様々なオンライン事業を実施した。	・今後も需要の継続が予想されるICTを活用したイベントを職員とICTボランティアで連携して開催していく。 ・介護予防総合センター(ラックチャ)が中心となり、いきいきプラザ等関係機関でのオンラインレッスンの開催や、文化系オンライン講座の開催、eスポーツ等のICTを活用した事業をさらに展開していく。
6-(2)-④	73	—	—	認知症予防事業の実施	高齢者支援課	ウォーキング等の有酸素運動を中心とした事業を行う。	有酸素運動やデュアルタスク運動などを行うとともに、社会参加(外出・交流など)の機会を提供した。 ・延べ参加者数194人	脳の活性化を目的に、デュアルタスクを用いた有酸素運動やメモリー(記憶)トレーニング、また日々のそれぞれの生活の工夫を話し合うグループワークを行った。さらに、5人程度のグループでウォーキングコースを計画立案し、1時間程度外出した。(延べ参加者245名)	—	—	グループで計画立案したウォーキングコースをグループのメンバーに合わせて歩くことはとても好評であり、脳の活性化にも効果的であった。令和8年度も継続していく。	認知症予防と介護予防事業の違いについて整理し、この事業の目的を再確認したい。また、認知症予防ではなく、認知症に備えてもらう講座として、対象なども再考したい。
6-(3)-①	74	—	—	スポーツと健康づくりをともに支える環境の整備	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	スポーツ活動と生活習慣病やフレイル等の予防に向けた健康づくりのどちらも相互にできる環境を整備する。	フレイル予防に効果があると言われているeスポーツを各地区の高齢者にとって身近な場所であるいきいきプラザで体験できるイベントを実施した。	フレイル予防に効果があると言われているeスポーツを各地区の高齢者にとって身近な場所であるいきいきプラザで体験できるイベントを実施した。	—	—	eスポーツ体験イベントを、健康づくりやスポーツを各世代のeスポーツ体験イベントとして身近な環境で実施できた。	引き続き、いきいきプラザと連携して、高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施する。
6-(3)-②	74	—	—	健康増進センター(ハルシーナ)における健康増進の取組の実施	健康推進課	健康度測定事業(メディカルチェック事業)を実施する。健康度測定を受診した人が参加できる健康づくり事業のほか、区民の多様なニーズに応える健康教室や各種事業を拡充する。	令和6年度から新たな指定管理事業者による取組を開始した。 ・健康度測定受診者数:232人	健康運動指導士の資格を持つトレーナー(非常勤)を多く採用し、効果が高く、体への負担の少ないセルフトレーニングの指導が可能となり、利用者の満足度が高くなった。	—	—	スポーツジムの運営する事業者が指定管理事業者を切り替えたことで、利用者へのきめ細やかな運動指導が実現できた。若年利用者を拡大させることが引き続き課題である。	令和9年度に大規模改修による7か月間の休館を予定しているため、休館期間中の利用者へのサービスを考え、予算化していきます。
6-(3)-③	74	—	—	介護予防総合センター(ラックチャ)における介護予防に係る取組の実施	高齢者支援課	膝痛改善教室や健康トレーニング等の介護予防事業や、介護予防の周知につながる区民公開講座の実施など、介護予防に係る事業を総合的に推進する。	・介護予防事業や各種教室を実施し、介護予防を推進した。 ・テーマの異なる区民公開講座を7回開催した。 ・5地区介護予防事業代表者と連携し、介護予防事業プログラムの見直しと改善を行った。	・介護予防事業や各種教室を実施し、介護予防を推進した。 ・区民公開講座についてアイフレイルやヒアリングフレイル等の介護予防に繋がる題材の講座を6回開催した。(会場+オンライン)のハイブリッド形式) ・5地区介護予防事業代表者と連携し、介護予防事業プログラムの見直しと改善を行った。	—	—	区民公開講座について専門医に講師を依頼し、より区民のニーズに沿った講座を開催できた。事業プログラムの見直しにより、開催時期を調整し、体力レベルが合わない利用者をスムーズに適切な事業へ誘導できるようにした。	休日の稼働率向上や、就労層の参加率向上のため、新たに日曜日に事業を増設する。また高齢者相談センターやふれあい相談員、介護サービス従事者など、地域在宅高齢者と関わる職種との情報共有や連携を強化し、新規利用者の発掘と介護予防の周知に繋げる。